

ROF Reader

Version 5.1 リリースノート

ROF Reader Version 更新履歴

用語解説

PVPDL： 弊社製品GateWareServer を導入した場合に使用するデータ形式です。

Ver.5.1.1Lv05 (2013/09)

- ◆ 以下のOSに対応
 - (1) Windows Server 2012
- ◆ 以下の障害に対応
 - (1) ファイル名に”空白”+ ”-”が含まれている場合、ROF Reader が起動出来ない不具合を修正
- ◆ 以下の機能を追加
 - (1) ROF Reader で、フォーム固定移動の機能を追加。

Ver.5.1.1Lv04 (2011/11)

- ◆ 以下の障害に対応
 - (1) 文字フィールドに有効桁指定がある場合、外字が混在すると、文字列の切り出し位置がずれる不具合を修正
- ◆ 以下の機能を変更
 - (1) ドライバ言語にて、該当コードのビットマップが登録されていない外字ファイルを使用した場合、フォントがあれば印刷されるように変更。

Ver.5.1.1Lv03 (2011/09)

- ◆ 以下の障害に対応
 - (1) バーコード文字出力無しの設定時に、バーコードがフィールド全体に印刷されてしまう不具合を修正

Ver.5.1.1Lv02 (2010/03)

- ◆ 以下の障害に対応
 - (1) ROF Reader で開いたファイルの保存に失敗する不具合を修正

Ver.5.1.1 (2010/03)

- ◆ 以下のOSに対応
 - (1) Windows 7
 - (2) Windows 7 x64
 - (3) Windows Server 2008 x86
 - (4) Windows Server 2008 x64
 - (5) Windows Server 2008 R2

Ver.5.1.0 (2008/01)

◆ 以下の機能を追加

- (1) QRコード印刷機能の追加。

※画面表示はダミーバーコードのままです。

Ver3.4.0 (2006/05/18)

◆ 以下の機能を追加

- (1) EAN128コンビニバーコード印刷機能の追加。

別途、ライセンスが必要です。

- (2) 動的DPI値変更機能の追加。

これまでのDURL では、言語毎に決められたDPIでPDLを生成していましたが、プリンタドライバの設定を使用するように変更されました。DURLの設定では変更できません。

Ver.3.3.2 (2005/01/18)

◆ 以下の機能を追加

- (1) プリンタドライバ言語にて、半角文字の幅を全角文字の半分に固定する機能の追加。(設定方法は、マニュアルの「半角文字の幅を全角文字の半分に固定」の項をご覧ください。)

◆ 以下の障害を対応

- (1) Windows98 でパス変数に不正なパス(書式)でROF Reader3.3 のインストールディレクトリを記述する障害を改修。
- (2) ドライバ言語が参照するフォントセットがコンフィグファイルの「FormHelper30xxx」を参照していたため「FontSet.lg0010xxx 」を参照するように改修した。

Ver.3.3.1 (2004/04/01)

◆ 以下の障害を対応

- (1) 上書きインストールでエラーとなる障害。古いバージョンがインストールされている環境に上書きインストールを行うと「次のファイルを読み込み中に、ネットワークエラーが発生しました。」でエラーとなりインストールできない。
- (2) 起動時にエラーとなる障害。画面起動時に「指定されたコンフィグファイルは読み込めません。」でエラーになり起動できない。
- (3) バックグラウンド印刷でワークファイルが削除されない障害。
バックグラウンド印刷（-Bオプションで起動）した場合、ユーザプロファイルフォルダのワークファイルが削除できないためディスクを圧迫してしまう。

Ver.3.3.0 (2003/09/22)

◆ 以下の機能を追加

- (1) バックグラウンド印刷を追加 起動パラメータ -B
 - エラー発生時にエラーダイアログを表示しません。エラーコードを返却して終了します。
 - 設定ファイルの不要な書き込みは行いません。
 - 印刷中ダイアログを表示しません。
 - ROFファイルのロック処理は行いません。
- (2) 起動パラメータで 印刷倍率の指定を追加 -G[印刷倍率]
- (3) 起動パラメータで 言語の指定の追加 -L [言語番号] 1300,5200,5201
 - 1300 IBM 5577 Series
 - 5200 ESC/P
 - 5201 ESC/P VP シリーズ対応

◆ 仕様変更

- (1) 最小文字サイズのデフォルトを9ポイントから8ポイントに変更。

◆ 以下の障害を対応

- (1) 小数桁の指定で四捨五入が正しくなく切り捨てになってしまう。1000.5 の四捨五入が1000となってしまう障害。
- (2) ファイルを開く場合にアドミニ権限のないユーザでファイルを開くとメモ帳が開いてしまう。インストール時ROFファイルのMIME タイプの設定をレジストリに追加。
- (3) フィールド数が多いと表示処理に時間がかかる。
- (4) 連続するイメージフィールドでROFReader が異常終了する。
- (5) PVPDL再配置コマンド（両面印刷時の裏ページ強制改ページ）に対応していない。「指定されたフォームがありません。」というエラーになる。
- (6) ページデリミタの後ろに捨て文字が続く場合、次ページでの表示がずれる。（例 ページデリミタ \$、捨て文字 C R + L F） CR+LFを2文字とカウントしてしまい、次ページの先頭に余計な2文字を表示しようとした結果表示がずれてしまう。
- (7) 内部バッファ40960 バイトとデータサイズが同じ場合ROFが開けない障害
「ROFファイルの解凍に失敗しました。」というエラーになる。

Ver.3.2.1 (2003/03/28)

◆ 以下の障害を対応

- (1) インストール時デフォルトでバーコード出力結果が Ver3.1 と異なる障害

Ver.3.2.0 (2002/08/30)

◆ 以下の機能を追加

- (1) Windos2000、WindowsXP 以降の制限ユーザに対応。
- (2) プリンタドライバの設定による印刷機能の追加
- (3) プリンタドライバ印刷のバーコード印刷機能強化JAN標準、JAN短縮、Code39、Nw7の機能強化及び新たに以下のバーコードの印刷をサポート(UPC-A、UPC-E、Code128、郵便番号カスタマ、QRコード、PDF417)

◆ 仕様変更

- (1) 印刷ダイアログ
ページ指定に0を入力されたらエラーとする。

◆ 以下の障害を対応

- (1) 起動パラメータ -Z OVL の指定が利かない障害の修正。
- (2) Ver3 以降の製品における、イメージフィールドで前頁のイメージを誤表示してしまう障害の修正
- (3) 2バイト文字列の2バイト目の文字が捨て文字と合致した場合に表示がおかしくなる障害の修正

Ver3.1.3 (2002/01/31)

◆ 以下の機能を追加

- (1) 1フィールドのデータサイズ最大(半角1500文字、全角725)の制限を廃止。但し利用可能なデータサイズはお客様のハードスペックに依存いたします。

◆ 以下の障害を対応

- (1) PVPDL帳票の基準フォントがMS Pゴシック固定となっている不具合修正。
- (2) 帳票内において空のフォント情報が格納されている際にアプリケーションエラーが発生する不具合修正。
- (3) ページ番号を印刷するセパレータ帳票を使用すると印刷時の「ページ指定」が上手く機能しない不具合修正。

Ver.3.1.1 (2001/12/21)

◆ 以下の障害を対応

- (1) 複数行を表示するフィールドに改行コードだけのデータが設定されるとアプリケーションエラーが発生する不具合修正。
- (2) 複数文字列フィールドで外字を表示すると2行目以降は外字ファイルが使用されない不具合修正。

Ver.3.1.0 (2001/11/06)

◆ 以下の機能を追加

- (1) **ESC/P 言語(VP 対応版)** の印刷機能を追加。
- (2) 文字列検索時の最大文字数の入力制限 (半角256 文字、全角128 文字) を追加。

◆ 以下の障害を対応

- (1) 数文字フィールドにおいて全角文字の1 バイト目と2 バイト目が別の行に別れた際にアプリケーションエラーが発生する不具合修正。

Ver.3.0.0 (2001/09/20)

◆ 以下の機能を追加

- (1) **ROF Ver3.0** 形式のファイルの読み込み機能を追加。**ROF Ver3.0** 形式のファイルは設定ファイルを格納する事が出来るので設定ファイルに記述されている項目 (フォント情報、回転文字情報、バーコード情報等) を配信する事が出来る様になった。
- (2) テスト印刷機能印刷機能にテスト印刷を追加。印刷ダイアログ画面からと起動パラメータからの2つの指定が可能。ただし起動パラメータでテスト印刷を行うには、即時印刷パラメータの“-M”も同時に指定されている事が必要。
- (3) 印刷形式の指定印刷機能に印刷形式指定を追加。この機能によりオーバーレイとデータをそれぞれ単独に印刷する事が可能になった。印刷ダイアログ画面からと起動パラメータからの2つの指定が可能。
- (4) ドライバ依存の指定印刷条件の用紙指定と印刷方向にドライバ依存の指定が出来る様になり印刷時にOSのプリンタドライバの設定値による印刷が可能となった。
- (5) インストーラ追加インストールの**ESC/P**言語変換とプリンタドライバ言語変換 (連長用) のインストール時に**ROF Reader** のインストール有無をチェックし、**ROF Reader** がインストールされていない時はインストール出来ない様に修正。

◆ 仕様変更

- (1) 印刷ダイアログ印刷する用紙のパラメータ“**AUTO**” を“オーバーレイ依存”に名称を変更、また印刷方向のパラメータ“自動”も“オーバーレイ依存”に名称を変更。
- (2) ヘルプファイルフォントをシステムフォントから**MS P明朝**に変更。

◆ 以下の障害を対応

- (1) 文字列自動改行機能において改行コードが連続して挿入されているデータに対応。

Ver.2.11 (2001/06/30)

◆ 以下の機能を追加

- (1) 用紙方向指定印刷条件に用紙方向の指定を追加。印刷ダイアログ画面からと起動パラメータからの2つの指定方法がある。
- (2) 保存禁止の**ROF** ファイルの自動削除機能出力条件にローカルディスクへの保存が禁止されている**ROF** ファイルを**ROF Reader** で開いた場合、そのファイルが使用されなくなった時点でファイル削除を行う。ファイルが使用されなくなる時点とはファイルメニューで他の**ROF** ファイルを開いた時点または**ROF Reader** を終了した時点を目指す。
- (3) 文字列自動改行機能文字フィールドのデータに **LF** が挿入されている場合、自動的に**LF** で改行し表示および印刷を行う。**LF** が単一行の文字フィールドに存在した場合はそれ

以降の文字列を切り捨てる。

- (4) インストーラ上書きインストール時にインストールフォルダ配下にBackupというディレクトリを作成し、そこに旧設定ファイルをバックアップする。尚バックアップデータについては、アンインストール時に消去を行わない。

◆ 仕様変更

- (1) デフォルトプリンタの起動時の使用プリントダイアログおよび直接印刷時に設定されるプリンタの初期選択状態を前回使用したプリンタからWindowsに登録されているデフォルトプリンタに変更、二回目以降の印刷時は今まで通り直前の印刷済みプリンタ名を表示する。

◆ 以下の障害を対応

- (1) マカフィー社のウイルススキャンVer4.5を使用しているWindows NTユーザがROF Readerを使用すると起動が遅くなる件に対応。
- (2) ROF Reader Ver2.10でPVPDL帳票のROFファイルをエクスプローラからの右クリックにより印刷しようとするアプリケーションエラーが発生する障害対応。
- (3) Ver2形式リストア時のユーザ名・返信用領域のバッファオーバーランの対応。
- (4) ページ数印刷有りのセパレータ帳票をエクスプローラからの右クリックにより印刷を行うとページ数が0になる件に対応。
- (5) Ver1形式のセパレータ帳票の帳票名とコメント印刷の不具合の対応。

Ver.2.10 (2001/03/19)

◆ 以下の機能を追加

- (1) 検索機能を拡張オーバーレイのフィールドで有効データ範囲が指定されている帳票についても検索機能に対応。PVPDL帳票に対する全文検索機能を追加

◆ 以下の障害を対応

- (1) 印刷ダイアログの印刷マージンにおいて単位を切り替えることによって値が変わってしまう件対応。
- (2) コマンドラインでの引数指定において、印刷マージンをx=0, y=0にした場合、指定が効かない件に対応。
- (3) PVPDL帳票において、帳票内の制御コードでオーバーレイが指定されている場合に正しいオーバーレイで表示されない件に対応。
- (4) 起動パラメータに「-D」を指定し、直接印刷ダイアログを表示させた場合に、ヘルプボタンを押してもヘルプ画面が表示されない件に対応。
- (5) Windows 9x 系OSでネットワークドライブのROFを開いた場合に、ローカルドライブへの保存が出来ない件に対応。

◆ 仕様変更

- (1) Windows Me 対応

Ver2.08 (2001/02/13)

◆ 以下の機能を追加

- (1) プリンタドライバ言語のバーコード印刷機能を追加

Ver.2.07 (2000/12/08)

◆ 以下の機能を追加

- (1) 新イメージライブラリ導入JPEG形式などのフィールドイメージを表示および印刷可能な画面モード256色に対応
- (2) セパレータ印刷機能追加

◆ 以下の障害を対応

- (1) リードオンリー属性のROFがWindow NTでは読めるがWindows 95では読めない

◆ 仕様変更

- (1) Windows 2000 SP1対応。

Ver.2.06a (2000/11/17)

◆ 以下の障害を対応

- (1) オーナ保護のユーザ名とパスワードは大文字小文字を区別しないように修正。

Ver.2.06 (2000/10/31) ※ 英語版のみ出荷

◆ 以下の障害を対応

- (1) ユーザ名有り、パスワード無しの状態でオーナ保護をかけたROFをオープンしようとするとアプリケーションエラーが発生する障害対応。
- (2) ROFに含まれる帳票内に捨て文字が連続して存在していた場合にアプリケーションエラーが発生する障害対応。

Ver.2.05 (2000/10/12)

◆ 以下の障害を対応

- (1) ダイナミックオーバーレイ情報、イメージ情報を使用している場合に、帳票内部のID＝>ファイル名置き換え処理でテキスト情報など変換不要部分まで変換を行っていた障害対応
- (2) 展開ファイルにパスワード情報がそのまま出力されていた障害対応
- (3) パスワード認証に失敗した場合に、展開ファイルが削除されずに残ってしまう障害対応
- (4) Windows 95&98 上において「保存」が行えない障害対応
- (5) ROFで指定されているプリンタ言語番号がROF Reader に存在しない言語番号であった場合、印刷ダイアログを出さずに直接印刷処理を行うと印刷に失敗する。
- (6) フィールド選択モード中にPVPDL のROF を開いた場合、フィールド選択モードを解除する事ができなくなる障害対応。

Ver2.04 (2000/09/29)

◆ 以下の障害を対応

- (1) 複数のROFを同時にオープンするとエラーになる。
- (2) Windows95、98で印刷を行った場合に縦書き回転文字の印字方向が異常になる。
- (3) PVPDL帳票の画面表示位置、印字位置がずれる。
- (4) PVPDL帳票のオーバーレイ切替が正常に動作しない。

Ver.2.03 (2000/09/14)

◆ 以下の障害を対応

- (1) 印刷ダイアログのYマージン指定欄の単位系表示誤りの修正「ミ」であるべきところが「インチ」となっている。
- (2) PVPDL帳票を表示した場合、最後のページが表示されない場合がある。
- (3) PVPDL帳票の11ページ以降のデータが改ページしても更新されない。

Ver.2.02 (2000/08/31)

◆ 以下の機能を追加

- (1) 用紙サイズに「AUTO」を追加。「AUTO」の場合は、オーバーレイの用紙サイズを印刷用紙サイズとする。

Ver.2.01 (2000/08/11)

◆ 以下の障害を対応

- (1) ROF Composerで出力用紙を「LETTER」に設定しても、ROF Reader側では「A4」用紙で出力される。
- (2) ROF Readerでオープン中のROFに保護がかかっていない。
- (3) 初期起動時にパスワードダイアログが中心にこない場合がある。
- (4) フィールドの直前に捨て文字が存在していた場合に、ダイナミックオーバーレイやイメージ表示ができなくなる。

◆ 以下の機能を追加

- (1) 印刷ボタンを追加

Ver.2.0 (2000/07/31)

◆ 以下の機能を追加

- (1) ROFVer1.0及びVer2.0が読める。
- (2) 複数項目選択による検索機能。
- (3) ROFVer2.0から追加される出力方式データを参照して出力方式を変更させる。
 - 0ビット 1 : ROF起動時ビューイングする。
0 : ROF起動時ビューイングしない。
 - 1ビット 1 : 印刷許可
0 : 印刷不許可
 - 2ビット 1 : 印刷時印刷ダイアログ表示
0 : 印刷ダイアログ非表示
 - 3ビット 1 : ローカル保存許可
0 : ローカル保存不許可
- (4) コマンド起動引数の追加
 - L [言語番号] : 言語番号指定
 - Z [用紙サイズ名]: 用紙サイズ以下のいずれかの用紙サイズを指定する。
 - A 3
 - A 4
 - A 5
 - B 4
 - B 5
 - D : プレビューせずに印刷実行 (印刷ダイアログを開いて印刷)
 - R [印刷マージンX, 印刷マージンY]
: 印刷マージン指定 (単位は、mm)
- (5) セキュリティ認証はパスワードのみからユーザ名&パスワードに変更
- (6) 印刷ダイアログに印刷マージンの設定項目を追加する。(指定単位は mm)
- (7) ROP の MIME 設定をインストーラに追加する。
- (8) 前回印刷時の印刷情報を印刷デフォルト情報として持っておく。印刷情報の優先度は以下のとおりとする。(優先度高 > 優先度低とする)
 - ユーザ手動指定情報
 - > ROF 内部指定印刷情報
 - > デフォルト印刷情報 (前回印刷情報)
- (9) ROP と ROF の扱いについて

エクスプローラで ROF もしくは ROP を選択し、右クリックを押した場合のメニューの動作を以下のとおりにする。

[ROF]

開くビューワーが起動される。
印刷印刷ダイアログのみが表示される。

[ROP]

開く・・・印刷ダイアログが表示されずに直接印刷がかかる。

印刷情報の優先度は、**ROF** 内部指定印刷情報＞ デフォルト印刷情報（前回印刷情報）である。

印刷・・・印刷ダイアログのみが表示される。

Ver.1.0

新規作成

DC3154